

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870104803
法人名	有限会社 ヒメックス
事業所名	グループホームかがやき 1階ユニット
所在地	愛媛県松山市東方町甲1438-1
自己評価作成日	平成 26 年 5 月 8 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 26 年 5 月 28 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

レクリエーションや外出・野外でのバーベキューなど利用者様が少しでも変化があり、楽しく過ごして頂ける様取り組んでいる

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は松山市立荏原小学校の近隣に位置し、田んぼなどの自然に囲まれた静かな環境となっている。事業所の敷地内にはウッドデッキや家庭菜園もあり、野菜づくりを行う利用者もいる。職員は、利用者がゆっくり自由にのびのびと過ごすことができるよう、外出や買い物などの利用者の要望にできるだけ対応でき、日常生活に刺激となるよう積極的な対応できるよう考えて、個別での支援にも取り組んでいる。管理者と職員は信頼関係ができており、自由に意見やアイデアを出し合うことができ、働く意欲にもつながっている。また、しゃべる動物のぬいぐるみなどを使用してアニマルセラピーを実施しており、利用者の穏やかな生活につながっている。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームかがやき

(ユニット名) 1階ユニット

記入者(管理者)

氏名 相原ちとせ

評価完了日 26年5月8日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 地域とのつながりも大切と思うが入居された方への理念となっている。</p> <p>(外部評価) 「ともに歩み、ともに生きる」という事業所理念を開設時に職員全員で話し合い作成している。また、理念に沿った目標を掲げ、職員はユニット会で話し合うなど利用者の要望が実現できる生活が送れるよう努めている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<p>(自己評価) 隣近所とは挨拶などのつきあいがある。地域性もありむずかしい面もあるが、地域行事や清掃作業などに参加。つながりを深められる様取り組んでいる。駐車場で行事は声掛けしています。</p> <p>(外部評価) 企業や団体の自治会への加入は認めてもらえない地域でなかなか地域住民の協力を得にくい環境であるが、散歩時に近隣住民とあいさつや会話を交わしたり、地域の井手清掃や運動会に参加したりしながら交流を広げようとしている。地域で発行している「久谷だより」には、介護保険サービスなどを順次紹介するコーナーがあり、事業所を紹介してもらい地域住民から理解を得られるよう努めている。また、近隣にある小学校の運動会に参加して交流をしている。公民館主催の文化祭には、利用者が作成した作品を出展し見学をしたり、利用者と一緒に公民館へ獅子舞を見に行ったり、秋祭りには事業所に神輿の訪問があることを利用者は楽しみにしている。近隣の施設の夏祭りにご招待があり、利用者同士の交流を深めている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) お元気な利用者様にも参加して頂き、清掃作業などに参加。他、利用者様にふれあって頂き理解を深めて頂ける様取り組んでいる。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) ご出席頂いた方のご意見を全職員に報告、協議し出来ることは取り入れている</p> <p>(外部評価) 運営推進会議は2か月に1回、民生委員、市担当者、地域包括支援センター職員、社協職員等の参加を得て開催している。会議では利用者の生活状況や行事報告を行うほか、担当職員が議題に合わせてレポート作成して発表し、参加者から意見をもらっている。会議への参加者が少なく、積極的な意見交換とまでなっていないため、管理者は家族や多方面への声かけを検討している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議などで報告やご相談させて頂いている。</p> <p>(外部評価) 市担当者は運営推進会議に毎回参加しており、事業所の情報提供を行い、意見をもらっている。利用者や家族の要望や事業所の体制などを市介護保険課に出向いて相談しており、良好な関係を築いている。また、定期的に市生活福祉課へも電話連絡を行い、相談に応じてもらっている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 全ての職員は身体拘束の内容を理解しており、禁止の対象となる行為は行っておらず、会議などで定期的に話しあっている。</p> <p>(外部評価) 月1回ユニット会で身体拘束にあたる可能性がある事例に基づいて具体的に話し合いを行い、職員全員で理解して身体拘束をしないケアを実践している。日中、玄関の施錠はしていないが、外出願望のある利用者には、職員が交代しながら声かけをしたり、一緒に散歩を行うなど対応をしている。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ユニット会などで常に話し合い、施設内研修も行っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、制度を利用しておられる方はいらっしゃらないが、試験などで学んだ事を伝え、理解を深められる様取り組んでいる。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に不安・要望をお聞きし、説明を行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者様、ご家族様のご意見は取り入れるように努めている。要望などは記録し、会議などで周知徹底している	
			(外部評価) 利用者の日常生活の会話から意見を聞き取り、細かなことでも対応できるよう努めている。以前は家族にアンケートで意見を書いてもらっていたが、意見が少なかったことから面会時に職員から声かけして、利用者の生活の様子や変化を報告し意見を聞いている。聞き取った新たな情報はミーティングノートに記録し、職員間で情報共有して反映できるように努めている。また、意見箱を設置して自由に意見を出してもらっているようにしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 職員の希望で勤務時間の調整・変更をしたり、問題点などあれば話し合い解決出来る様取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 管理者と職員間の信頼関係が築けており、職員は管理者に日頃から気軽に相談することができている。レクリエーション係や利用者の要望により買い物を行う個人購入係、オムツ係、おやつ係、書類整理係など、職員それぞれの担当を持ち、ユニット会で意見を出し合いながら情報交換を行い、職員の提案や意見を聞くことができている。利用者の生活の質の向上など積極的な意見が多く、出された意見は、管理者が所長と主任を交えて話し合い、反映できるように努めている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 職員全員がやりがいを持って働ける様、日頃からの話し合いや研修時の取り組みなど、職員の努力の把握に努め、残業の給与反映、昇給。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 各職員のスキル向上に努める様、社内研修を進めている。職員の勤務状況に無理のない範囲で積極的に社外研修を行っている。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 地区のグループホーム連絡会・勉強会等に参加している。</p>	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 利用者様のお話を傾聴する事を心掛け安心していただけるように努めている。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前の相談時から困っていることなどについてお聞きし、 より良い関係を築ける様努力しております。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) ご本人様・ご家族様とよく話し、必要なサービスを提供出来 る様努力しています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 共に暮らす関係を築いていくためのスタッフ間の話し合いを 常に行い、暮らしの中でできる事はさせていただいている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者様・家族様がコミュニケーションを図れる様心掛けて おります。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) 利用者様が望めばより良い関係が続くよう努めております。 (外部評価) 入居時に利用者や家族から馴染みの関係を聞き把握してお り、家族などの協力を得ながら利用者一人ひとりに個別の対 応ができるよう努めている。利用者の要望に応じて、馴染み の店や美容室に出かけられるよう支援している。また、入居前 に作業所へ行っていた利用者には、作業所に働きかけ継続し て通えるように支援するなど、馴染みの人や場所の関係が途 切れないよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 全体、および個人の状態をよく観察し、把握に努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 施設外でお会いしても挨拶などかわし合い、関係をくずさぬ様努めています。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 暮らしの中で会話し希望・意向の把握に努めております。 (外部評価) 日常会話の中から利用者の思いや希望を聞くようにしており、職員はできる限り利用者の要望がかなえられるよう支援している。思いの把握が困難な利用者には、返答しやすい問いかけを工夫したり、利用者の表情や行動などからくみ取るように努めたり、家族から面会時や電話で確認するようにしている。利用者本位のサービスが提供できるよう職員間で話し合い、試行錯誤しながら支援している。把握した内容はミーティングノートに記録し、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人様の思い出等、よく傾聴し把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員が日々の関わりの中で把握できる様に努力している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者様・ご家族様のご意見を取り入れ、月々のモニタリングによりその都度計画を見直し、介護計画に反映させています。	
			(外部評価) 利用者や家族の思いや意向を反映し、職員間で話し合い介護計画を作成している。作成した介護計画は、利用者本人に確認してもらったり、家族の面会時などに確認してもらっている。日勤者がケアプランチェック表で計画の実施状況を毎日チェックし、毎月のユニット会で担当職員を中心に報告し話し合いをしてモニタリングをしている。6か月に1回、介護計画の見直しを行うほか、身体状況の変化に応じてその都度見直しを行い、より良いサービスが提供できるよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々のケース記録や月一回のユニット会を開き、職員一同が情報を共有し、介護計画の見直しを取り入れ実践に活かしています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 利用者様に何が必要なのか職員一同が考えながら利用者様が快適な生活が送れる様工夫しています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 学校施設(小学校)が身近に所在し、職員同行にて運動会への参加など地域や世代間交流を図っています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 本人様や家族様の思いを尊重し、納得が得られたかかりつけ 医の定期的な受診を支援している。</p> <p>(外部評価) 利用者が希望するかかりつけ医を、家族の協力を得て継続し て受診することができる。また、入居時に利用者や家族に複 数の往診できる協力医を紹介しており、選択してかかりつけ 医としている利用者も多い。受診状況は家族に報告してもら い、職員と情報を共有している。また、看護師が利用者の服 薬や健康管理を行うなど、利用者一人ひとりが適切な医療を 受けられるよう支援している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 利用者様の状態変化や薬の変更等がある場合は、医療連携 ノートに記入し、看護師と連携を取り、支援している。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) かかりつけ医と相談し、入院先を円滑に決定させて頂いてい ます。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) ご家族様、ドクターとの話し合い連携を大切にし、ご本人様 が望まれる様に努めています。</p> <p>(外部評価) 事業所では5例の看取りを経験している。医療連携体制の方 針の中に、看取りに関する指針を作成しており、入居時に事 業所として対応できる内容を利用者や家族に説明し意向を確 認している。体調の変化に応じて、その都度医師等を交えて 家族と話し合い、利用者や家族の要望に応じた対応を行い、 安心して最期を迎えられるように努めている。また、主任が 中心になって職員への看取りの勉強会や指導を行ったり、外 部研修に参加したりしてサービスの向上に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ターミナルケアの研修を実施している。 急変時は医師に連絡して対応しています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は実施している。地域との連携について協力体制を築けていける様努めています。 (外部評価) 年2回避難訓練を実施し、うち1回は消防署の協力を得て訓練を行い、初期消火などのアドバイスをもらっている。前回の調査から、消防署の指導により災害マニュアルを作成し、マニュアルに基づいた訓練を実施している。また、緊急連絡網の整備や備蓄品を用意するなど、災害時に備えている。	地域の防災訓練に参加するなど、地域住民との協力体制が得られるような取組みを期待したい。また、緊急連絡網を活用した訓練を行い、情報伝達状況を確認するなど、さらなる職員の防災意識の強化を望みたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 施設内研修や外部研修を通してお一人お一人の人格を尊重し、プライバシーを損なわない様声掛けの実践に努めています。 (外部評価) 排泄時には、職員は大きな声を出さずにさりげない声かけを行ったり、失敗しても他の利用者に気づかれないように配慮したりするなど、利用者に不快感を与えないような支援を心がけている。また、他の利用者の前では、職員間で利用者や家族のことを話さないように気をつけ、利用者のプライバシーを損ねない対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者様の希望を伺い、自己決定できるように働きかけています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 全て利用者様の思いを優先とはいかないが、その方のリズムを大切にし、お一人お一人が満足できる一日を過ごせる様努めています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) お一人お一人の個性をみつけ、利用者様の身だしなみやおしゃれができる様支援し、ご本人様の希望にも沿える様に努めています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 時には利用者様にメニューの希望を聞き、お手伝いをしてもらいながら作ったり、季節の食材を使った料理を作り、季節感を味わって頂いています。	
			(外部評価) 担当職員が冷蔵庫の食材を見て献立を決め、調理している。日々の会話の中で利用者の好みのメニューを聞き取り、利用者が食事を楽しめるよう工夫している。食材は、週1回スーパーに注文し、不足の物は買い物に行き、家庭菜園で採れた季節の野菜も取り入れている。食事の時間が分かるよう、ランチョンマットを敷いて雰囲気づくりを行い、職員は利用者と同じ食卓を囲み、会話を楽しみながら同じ食事を食べている。また、バーベキューや鍋を囲むことを取り入れ、利用者が食事を楽しめるよう工夫している。刻み食やミキサー食など対応したり、朝夕居室で食事を食べる利用者があるなど、利用者の状態や要望に合わせた支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量や水分量を毎日確認し、お一人お一人の状態にあわせて支援しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの声掛けし、できない事を支援しています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 自立支援をめざし、ご本人の様子観察を行い、声掛け、見守り等支援している。	
			(外部評価) 開設9年が経過し、重度化に伴い、オムツをしている利用者が増えてきている。排泄チェック表で回数と量を把握し、職員は声かけてトイレで排泄ができるよう支援している。また、夜間のみポータブルトイレを使用している利用者もいる。利用者からの訴えでトイレに誘導するなど、利用者に合わせて支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎食の野菜摂取、水分補給、牛乳、乳製品の摂取を勧め、お腹マッサージや体操を取り入れる様にしている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 一人一人の希望にあわせ、その方に応じた入浴の支援をしている。	
			(外部評価) 利用者の要望に応じて、毎日入浴することや一番風呂、夕方の時間帯の入浴にも対応している。浴室入口には「かがやき温泉」と分りやすく表示し、利用者が気分よく歌を歌いながら楽しく入浴できるよう支援している。入浴の苦手な利用者には、声かけに工夫したり日を替えたりするなど、3日に1回は入浴してもらっている。また、利用者の体調に合わせて、シャワーキャリーを使用して清拭を行い、個々に応じた入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間、入眠出来ない利用者様には話を聞いたり、温かい飲物を飲んで頂いたり、安心されるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬管理ファイル・処方箋ファイルなどでいつでも把握できる様にしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯干し・たたみ等できる事をして頂いています。 又、週1回のレクリエーションの参加の声掛けし、気分転換等の支援に努めています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日には散歩に行ったり、家族様と一緒に出かけられる利用者様もいらっしゃいます。 レンタカーを貸りてお花見・買物等に出かけ外出支援に努めています。	
			(外部評価) 天気の良い日は、事業所の周辺を散歩したり、スーパーに買い物に出かけている。レンタカーを借りて西条市の公園や緑化センター、杖ノ淵公園に出かけたり、季節に応じて初詣や花見などに出かけており、利用者は楽しみにしている。また、事業所の敷地内にある家庭菜園で野菜づくりをしている利用者や、家族の協力を得て外出をしている利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 支援しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングなどにはその季節に応じて、装飾や置物など利用者様に喜んでいただけるような工夫をしている。 トイレなどの共用空間は障害になるような物などは置かず、掃除ももちろん使いやすい空間を提供しています。	
			(外部評価) リビングは広く日当たりも良く明るい。行事の写真や利用者と一緒に作った紫陽花の貼り絵等、季節を感じさせる飾りつけをしている。2階建ての建物であるが、エレベーターを設置しており、2階からの利用者の昇降を安全にスムーズに行うことができる。また、ウッドデッキの前に家庭菜園があり、家庭的な雰囲気づくりをしている。職員は事業所内の清潔感を重要視しており、物の配置に気を配り清掃にも力を入れている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 利用者様の興味のあることや好きなことはスタッフが見守りをしながら利用者様が楽しんで過ごせる様な居場所作りの工夫をしています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 清潔感や利便性はしっかり確保しつつ、利用者様の好きなものなど喜ぶ物をおいて、居室にいても楽しいと思える空間を作っています。	
			(外部評価) 居室の入口は、利用者に応じた手作りの表札を設置しており、居室が分かりやすいよう似顔絵やコメントを書いて貼っており、大切に保管している利用者もいる。居室はベッドやタンス、冷暖房を備え付けている。居室には、利用者の使い慣れた物を持ち込み、仏壇や人形、絵を飾るなど、利用者に合わせて居心地よく過ごすことができる空間づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 転倒や事故のないような安全な環境づくりの整備に努めています。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870104803
法人名	有限会社 ヒメックス
事業所名	グループホームかがやき 2階ユニット
所在地	愛媛県松山市東方町甲1438-1
自己評価作成日	平成 26 年 5 月 8 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 26 年 5 月 28 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>午前中、短時間ではあるが口腔体操。 午後は、歌やレクレーションに努めています。 利用者様が日中リビングにて、安心して過ごしていただける様 あたたかいムードづくりに取り組んでいます。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は松山市立荏原小学校の近隣に位置し、田んぼなどの自然に囲まれた静かな環境となっている。事業所の敷地内にはウッドデッキや家庭菜園もあり、野菜づくりを行う利用者もいる。職員は、利用者がゆっくり自由にのびのびと過ごすことができるよう、外出や買い物などの利用者の要望にできるだけ対応でき、日常生活に刺激となるよう積極的な対応できるように考えて、個別での支援にも取り組んでいる。管理者と職員は信頼関係ができており、自由に意見やアイデアを出し合うことができ、働く意欲にもつながっている。また、しゃべる動物のぬいぐるみなどを使用してアニマルセラピーを実施しており、利用者の穏やかな生活につながっている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームかがやき

(ユニット名) 2階ユニット

記入者(管理者)
氏名 相原ちとせ

評価完了日 26年5月8日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 地域とのつながりも大切と思うが、入居された方への理念となっている。</p> <p>(外部評価) 「ともに歩み、ともに生きる」という事業所理念を開設時に職員全員で話し合い作成している。また、理念に沿った目標を掲げ、職員はユニット会で話し合うなど利用者の要望が実現できる生活が送れるよう努めている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<p>(自己評価) 隣近所とは挨拶などのつきあいがある。 施設駐車場で花火や焼肉大会など年行事に声かけを行っています。</p> <p>(外部評価) 企業や団体の自治会への加入は認めてもらえない地域でなかなか地域住民の協力を得にくい環境であるが、散歩時に近隣住民とあいさつや会話を交わしたり、地域の井手清掃や運動会に参加したりしながら交流を広げようとしている。地域で発行している「久谷だより」には、介護保険サービスなどを順次紹介するコーナーがあり、事業所を紹介してもらい地域住民から理解を得られるよう努めている。また、近隣にある小学校の運動会に参加して交流をしている。公民館主催の文化祭には、利用者が作成した作品を出展し見学をしたり、利用者と一緒に公民館へ獅子舞を見に行ったり、秋祭りには事業所に神輿の訪問があることを利用者は楽しみにしている。近隣の施設の夏祭りにご招待があり、利用者同士の交流を深めている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) お元気な利用者様にも参加頂き 清掃作業などに参加。 他の利用者様にも ふれあって頂き、理解を深めていただける様、取り組んでいます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ご出席頂いた方のご意見を全職員に報告、協議し出来ることは取り入れています。	
			(外部評価) 運営推進会議は2か月に1回、民生委員、市担当者、地域包括支援センター職員、社協職員等の参加を得て開催している。会議では利用者の生活状況や行事報告を行うほか、担当職員が議題に合わせてレポート作成して発表し、参加者から意見をもらっている。会議への参加者が少なく、積極的な意見交換とまでなっていないため、管理者は家族や多方面への声かけを検討している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議のときなどにご相談や、ご連絡をさせていただいています。	
			(外部評価) 市担当者は運営推進会議に毎回参加しており、事業所の情報提供を行い、意見をもらっている。利用者や家族の要望や事業所の体制などを市介護保険課に出向いて相談しており、良好な関係を築いている。また、定期的に市生活福祉課へも電話連絡を行い、相談に応じてもらっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 出入口等の施錠や身体拘束は行なっておらず、会議時などで定期的に話し合ったり共有を行っています。	
			(外部評価) 月1回ユニット会で身体拘束にあたる可能性がある事例に基づいて具体的に話し合いを行い、職員全員で理解して身体拘束をしないケアを実践している。日中、玄関の施錠はしていないが、外出願望のある利用者には、職員が交代しながら声かけをしたり、一緒に散歩を行うなど対応をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 予知出来る事柄などについて、ユニット会 又、研修時など機会ごとに実施しています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 資格受験学習や施設内研修により実施しています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前の面接、契約時などに不安や要望などが残らぬ様、お伺いしご説明を行っています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者様、ご家族様のご意見は取り入れるように努めている。要望などは記録し、会議などで周知徹底している。	
			(外部評価) 利用者の日常生活の会話から意見を聞き取り、細かなことでも対応できるよう努めている。以前は家族にアンケートで意見を書いてもらっていたが、意見が少なかったことから面会時に職員から声かけして、利用者の生活の様子や変化を報告し意見を聞いている。聞き取った新たな情報はミーティングノートに記録し、職員間で情報共有して反映できるように努めている。また、意見箱を設置して自由に意見を出してもらえるようにしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 職員の希望にて勤務時間の調整、変更をしたり問題点などあれば協議にて解決出来る様取り組んでいます。</p> <p>(外部評価) 管理者と職員間の信頼関係が築けており、職員は管理者に日頃から気軽に相談することができている。レクリエーション係や利用者の要望により買い物を行う個人購入係、オムツ係、おやつ係、書類整理係など、職員それぞれの担当を持ち、ユニット会で意見を出し合いながら情報交換を行い、職員の提案や意見を聞くことができている。利用者の生活の質の向上など積極的な意見が多く、出された意見は、管理者が所長と主任を交えて話し合い、反映できるように努めている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 職務 又、研修時など 職員の努力の把握に努め残業の給与への反映、昇給、介護職員処遇改善交付金の交付などを実施しています。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 各職員のスキル向上と目標をもって職務に取り組める様、社内研修 又、無理がない範囲での社外研修を行っている。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 地域のグループホーム連絡会、勉強会 等に参加しています。</p>	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 利用者様のお話に傾聴し、日々の変化に応じれる様 職員間で話合ったり、ミーティングノートを活用し共有を行っています。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時より、ご家族さまのお話しをお聞きしまた、こちら からも声掛けを行いコミュニケーションをとるよう努めてい ます。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) ご本人様と ご家族様とよくお話しをし、困っている事や要 望も取り入れるようにしています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 生活の中で簡単な家事など、出来ることはしていただいでい ます。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 月1回程度、お手紙の発送や電話で状況をお知らせし、情報 を伝えあっています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) 月に1回、ご自宅に帰宅される方、贈り物を届けて下さる方 もおられます。 (外部評価) 入居時に利用者や家族から馴染みの関係を聞き把握してお り、家族などの協力を得ながら利用者一人ひとりに個別の対 応ができるよう努めている。利用者の要望に応じて、馴染み の店や美容室に出かけれるよう支援している。また、入居前 に作業所へ行っていた利用者には、作業所に働きかけ継続し て通えるように支援するなど、馴染みの人や場所の関係が途 切れないよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者様同士、リビング内でお話し出来るよう座席を工夫したり、和めるよう努めています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 施設外でお会いしても、挨拶を交わしあい 関係をくずさぬよう努めています。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) アセスメント時に、ご本人様にご希望をお聞きしたり、生活の中での「思い」などを日々、汲み取り スタッフ間で共有しています。	
			(外部評価) 日常会話の中から利用者の思いや希望を聞くようにしており、職員はできる限り利用者の要望がかなえられるよう支援している。思いの把握が困難な利用者には、返答しやすい問いかけを工夫したり、利用者の表情や行動などからくみ取るように努めたり、家族から面会時や電話で確認するようにしている。利用者本位のサービスが提供できるよう職員間で話し合い、試行錯誤しながら支援している。把握した内容はミーティングノートに記録し、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日頃より ご家族さまにお話しをお聞きし生活歴など、把握に努めています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日、バイタルチェックなどにより心身状態等、把握に努めています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者様、ご家族様などのご意見を取り入れ、月々のモニタリングにより、その都度計画を見直し計画に反映させています。	
			(外部評価) 利用者や家族の思いや意向を反映し、職員間で話し合い介護計画を作成している。作成した介護計画は、利用者本人に確認してもらったり、家族の面会時などに確認してもらっている。日勤者がケアプランチェック表で計画の実施状況を毎日チェックし、毎月のユニット会で担当職員を中心に報告し話し合いをしてモニタリングをしている。6か月に1回、介護計画の見直しを行うほか、身体状況の変化に応じてその都度見直しを行い、より良いサービスが提供できるよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々のケース記録や、月1回のユニット会により職員一同が情報を共有し介護計画の見直しを取り入れ、実践に活かしています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 利用者様に何が必要なのか、職員一同話し合い考えながら、利用者様が快適な生活を送れる様、工夫しています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 学校施設(小学校)が身近に所在し職員同行にて運動会へ参加するなど、地域や世代間交流を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) ご家族様が納得されたかかりつけ医がおられ、定期的に往診 を受けられておられます。	
			(外部評価) 利用者が希望するかかりつけ医を、家族の協力を得て継続し て受診することができる。また、入居時に利用者や家族に複 数の往診できる協力医を紹介しており、選択してかかりつけ 医としている利用者も多い。受診状況は家族に報告してもら い、職員と情報を共有している。また、看護師が利用者の服 薬や健康管理を行うなど、利用者一人ひとりが適切な医療を 受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 定期的な連携により、利用者様の状況や体調の変化に早期対 応 出来る様に努めています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) かかりつけ医と相談し、入院先を円滑に決定させていただい ています。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 利用者様、ご家族様、介護職員、看護師、かかりつけ医と、 連携を取り ご本人様が望まれる様に努めています。	
			(外部評価) 事業所では5例の看取りを経験している。医療連携体制の方 針の中に、看取りに関する指針を作成しており、入居時に事 業所として対応できる内容を利用者や家族に説明し意向を確 認している。体調の変化に応じて、その都度医師等を交えて 家族と話し合い、利用者や家族の要望に応じた対応を行い、 安心して最期を迎えられるように努めている。また、主任が 中心になって職員への看取りの勉強会や指導を行ったり、外 部研修に参加したりしてサービスの向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ターミナルケアの研修を実施している。 急変時は医師に連絡して対応しています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練を実施している。 地域との連携について、協力体制を築いていけるよう努めています。 (外部評価) 年2回避難訓練を実施し、うち1回は消防署の協力を得て訓練を行い、初期消火などのアドバイスをもらっている。前回の調査から、消防署の指導により災害マニュアルを作成し、マニュアルに基づいた訓練を実施している。また、緊急連絡網の整備や備蓄品を用意するなど、災害時に備えている。	地域の防災訓練に参加するなど、地域住民との協力体制が得られるような取組みを期待したい。また、緊急連絡網を活用した訓練を行い、情報伝達状況を確認するなど、さらなる職員の防災意識の強化を望みたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 施設内研修や外部研修を通じて お一人おひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねない様、声掛けの実践にあたっています。 (外部評価) 排泄時には、職員は大きな声を出さずにさりげない声かけを行ったり、失敗しても他の利用者に気づかれないように配慮したりするなど、利用者に不快感を与えないような支援を心がけている。また、他の利用者の前では、職員間で利用者や家族のことを話さないように気をつけ、利用者のプライバシーを損ねない対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者様の希望を伺い、自己決定が出来るように働きかけています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り、利用者様のペースに合わせて お一人おひとりが満足できる一日を過ごせる様、努めています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 利用者様の身だしなみや おしゃれが出来る様 支援し、ご本人様の意思に沿えるように心掛けています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の配膳や後片付け等、出来る事をお手伝いいただき、寄り添っています。 (外部評価) 担当職員が冷蔵庫の食材を見て献立を決め、調理している。日々の会話の中で利用者の好みのメニューを聞き取り、利用者が食事を楽しめるよう工夫している。食材は、週1回スーパーに注文し、不足の物は買い物に行き、家庭菜園で採れた季節の野菜も取り入れている。食事の時間が分かるよう、ランチョンマットを敷いて雰囲気づくりを行い、職員は利用者と同じ食卓を囲み、会話を楽しみながら同じ食事を食べている。また、バーベキューや鍋を囲むことを取り入れ、利用者が食事を楽しめるよう工夫している。刻み食やミキサー食など対応したり、朝夕居室で食事を食べる利用者があるなど、利用者の状態や要望に合わせた支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量や水分量を毎日確認しており、お一人おひとりの状態にあわせ 支援しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアをして頂ける様、お声掛けし 出来ない事を支援しています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価) 自立支援をめざし、ご本人様の様子観察を行い声掛けや、見守り等 支援しています。</p> <p>(外部評価) 開設9年が経過し、重度化に伴い、オムツをしている利用者が増えてきている。排泄チェック表で回数と量を把握し、職員は声かけてトイレで排泄ができるよう支援している。また、夜間のみポータブルトイレを使用している利用者もいる。利用者からの訴えでトイレに誘導するなど、利用者に合わせて支援をしている。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価) 便秘しやすい方は朝、牛乳で対応。体操やローカの歩行訓練 又、腹部マッサージなど 便秘予防に取り組んでいます。適時、下剤なども使用しています。</p>	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価) 入浴時、その人の希望に合わせて シャワー浴の方、湯船に入られる方、一番風呂でないといけない方 など、その方に応じた支援を行っています。また、要介助の方については、コミュニケーションの場ともなっています。</p> <p>(外部評価) 利用者の要望に応じて、毎日入浴することや一番風呂、夕方の時間帯の入浴にも対応している。浴室入口には「かがやき温泉」と分りやすく表示し、利用者が気分よく歌を歌いながら楽しく入浴できるよう支援している。入浴の苦手な利用者には、声かけに工夫したり日を替えたりするなど、3日に1回は入浴してもらっている。また、利用者の体調に合わせて、シャワーキャリーを使用して清拭を行い、個々に応じた入浴を支援している。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価) お一人おひとりの生活習慣に合わせてたり、夜間においても転倒等なき様、寄り添い気を付けています。自力で寝返りが出来ない方への定期的な体位変換やエアーマット使用により褥瘡防止にも努めています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) いつでも把握できる様にしています。 状況により服薬時、支援させていただいています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ご自身で出来る事で、自室の清掃 また洗濯干し、取込み、たたみ など、負担がない程度で役割を担って頂いています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 何回かに分かれ、お花見や散歩等 外出されたり、その人に合った希望の場所へ出掛けられる様、支援をしています。	
			(外部評価) 天気の良い日は、事業所の周辺を散歩したり、スーパーに買い物に出かけている。レンタカーを借りて西条市の公園や緑化センター、杖ノ淵公園に出かけたり、季節に応じて初詣や花見などに出かけており、利用者は楽しみにしている。また、事業所の敷地内にある家庭菜園で野菜づくりをしている利用者や、家族の協力を得て外出をしている利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 支援しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 各居室や共有部において、日々の清掃、定期的な冷暖 吹き出し口、冷蔵庫内の清掃などを実施し、居心地良く過ごしていただける様 努めています。</p> <p>(外部評価) リビングは広く日当たりも良く明るい。行事の写真や利用者と一緒に作った紫陽花の貼り絵等、季節を感じさせる飾りつけをしている。2階建ての建物であるが、エレベーターを設置しており、2階からの利用者の昇降を安全にスムーズに行うことができる。また、ウッドデッキの前に家庭菜園があり、家庭的な雰囲気づくりをしている。職員は事業所内の清潔感を重要視しており、物の配置に気を配り清掃にも力を入れている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) 利用者様同士でお話をされ、互いにストレスが溜まった時には、スタッフが係わり、一度 距離をおいていただいたり、各 ご自身の時間を作っていたりしています。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 出来るだけ“なじみのもの”を身近においていただき 困難な時のみ職員が整え、出来るだけご自身で整理整頓できる様、寄り添っています。</p> <p>(外部評価) 居室の入口は、利用者に応じた手作りの表札を設置しており、居室が分かりやすいよう似顔絵やコメントを書いて貼っており、大切に保管している利用者もいる。居室はベッドやタンス、冷暖房を備え付けている。居室には、利用者の使い慣れた物を持ち込み、仏壇や人形、絵を飾るなど、利用者に合わせて居心地よく過ごすことができる空間づくりをしている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) カレンダーや掲示物などにより、季節感を体感出来たり、清掃用備品など ご自身でいつでも活用できる様 職員で話し合い、工夫に努めています。</p>	